

学生服

時代と共に

2017年10月2日(月)～2018年2月28日(水)



(開館時間) 平日 8時30分～22時 / 土・日・祝 10時～17時 (入館料) 無料

(休館日) 11月18・23日、12月28日～1月4日、1月13・14・23日、2月25・26日

※臨時に休館する場合があります。附属図書館HPをご確認ください。 <http://www.lib.hyogo-u.ac.jp>



国立大学法人 兵庫教育大学
教材文化資料館
Educational Materials Museum



学生服 一時代と共に

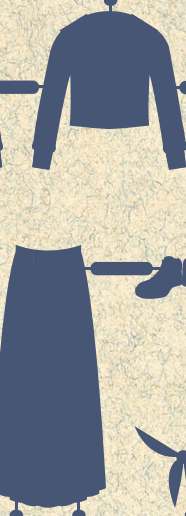
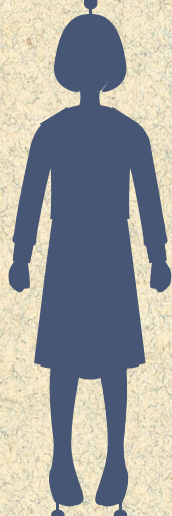
日頃より、兵庫教育大学教材文化資料館をご支援いただき誠にありがとうございます。

今年度の後期展は、「学生服一時代と共に」と題して学生服が制定されて以降、その教育的意義や児童生徒の受け止め方が時代とともにどのように変化したのかを概観し、現代における役割を再考する機会となることを望んでおります。

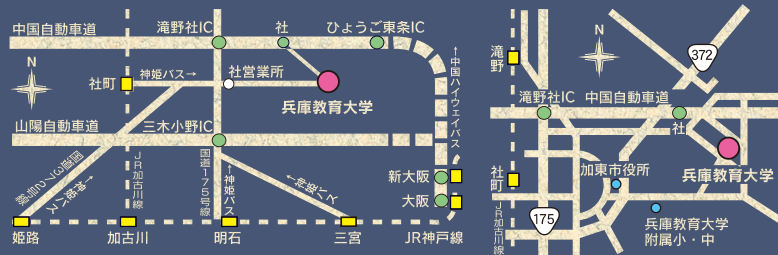
明治期に森有礼文部大臣により軍服に影響された男子用学生服が採用されて以後、児童生徒の制服は精神の涵養に資することが主な機能でした。一方で女子児童生徒のものは、羽織袴、洋服採用、和服回帰、セーラー服導入等多様に変遷したようです。

1960年代頃には、服装や頭髮の自由化の波が押し寄せましたが、その後「長ラコ」といった変形学生服が対抗文化の象徴となりました。80年代から90年代にかけてブレザーなどの新しい制服を求める動きも出始め、現代では学生服が多様化し、ファッション志向の高いものもあります。

このような学生服の変遷の中で、経済性、精神性を中心とした在り様から若者の文化的トライブを自覚させる求心的な役割への変化などを読み解くとともに学校文化を再構築する新たな学生服の可能性を探る契機となれば幸いです。



アクセス



車：中国自動車道滝野社ICから約15分

バス：JR三宮駅・明石駅・姫路駅から神姫バス「社営業所」乗り換え「兵庫教育大学前」下車

電車：JR加古川線「社町駅」から神姫バス「兵庫教育大学前」下車

教材文化資料館は附属図書館に併設しています。

お問い合わせ

国立大学法人

兵庫教育大学教材文化資料館

673-1494 兵庫県加東市下久米942-1

TEL:0795-44-2362 ※平日9時～17時のみ

FAX:0795-44-2364

HP:<http://www.hyogo-u.ac.jp/museum/>



国立大学法人 兵庫教育大学
教材文化資料館
Educational Materials Museum